



CONTENTS	●【フラット 35】の制度が変わります!!…p.1	●『快適住実の家』『次世代住宅ポイント申込説明会』を開催しました…p.2	●トップ対談…p.3
	●一押し!リフォーム情報! 東京汐留に『TOKYO リノベーションミュージアム』がオープン…p.4	●JKHD グループ紹介 株式会社キーテック (山梨工場) …p.5	
	●商品情報…p.6	●イチオシ! Bulls: リフォーム向け 次世代住宅ポイント特集…p.7	●展示会・出展情報 ジャパン建材がみらい市に出展します! / ●合板天気図…p.8

【フラット 35】の制度が変わります!!

10月1日以後の借入申込分から利用できる制度

以下の2項目については「10月1日以後の借入申込分」から利用が可能です。現在もしくはこの先お借り入れを検討されているお施主様が対象になります。

①【フラット 35】地域活性化型の対象事業を拡充します

◆【フラット 35】地域活性化型とは?

地域活性化について積極的な取組を行う地方公共団体※がU・I・J ターンなどでのマイホーム取得者に対する財政的支援とセットで、【フラット 35】の当初5年間または当初10年間の借入金利を引き下げる制度です。

【フラット 35】Sと併用することが可能ですので、条件に当てはまる方にとってはメリットの大きな制度といえます。

(※住宅金融支援機構と協定を締結し、連携している地方公共団体に限ります。)

◆今回追加する対象事業

1) 防災対策に資する事業…当初5年間の金利を年▲0.25%

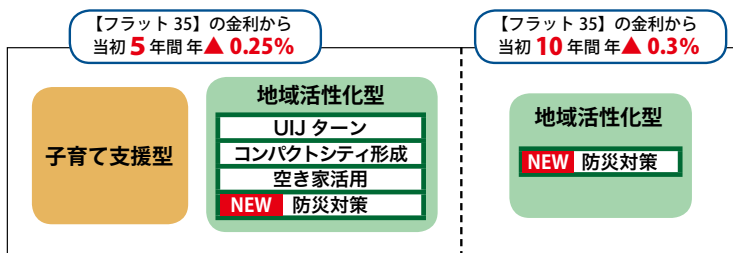
防災・減災対策が講じられた次のような住宅を建設・購入する場合で、当該住宅に対する補助金などを地方公共団体から受けるときに対象となります。

- ・多雪地域で屋根の雪下ろしの必要がないように工夫された住宅
- ・雨水浸透施設を設置した住宅

2) 地方移住支援事業(移住支援金制度の活用)…当初10年間の金利を年▲0.3%

移住支援金(東京23区から東京圏※外へ移住し、道府県が選定した中小企業に就業した方などに対する交付金)を地方公共団体から受ける方が、移住先で住宅を建設・購入する場合に対象となります。

(※東京圏とは、「東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県」を示します。)



住宅金融支援機構作成資料からの抜粋

注)・本制度には予算が設定されています。制度を利用される場合は、あらかじめ地方公共団体へ予算消化状況を確認くださいますようお願いいたします。

・対象の地方自治体及び詳細につきましては、フラット 35 のホームページ (<https://www.flat35.com/>) をご確認ください。



「ずっと固定金利の住宅ローン」としてご利用いただいています【フラット 35】が、この10月より一部制度を変更します。「10月1日以後の借入申込分から利用できる制度」と「10月1日以後の資金実行分から利用できる制度」の二種類全4項目に変更があります。その制度を簡単にご紹介いたします。

②建設費・購入価額の上限1億円の制限がなくなります

融資対象となる住宅の建設費※¹または購入価額について、これまで1億円を上限としていましたが、この制限がなくなります。※²

(※¹建設費について、土地取得費に対する借入を希望する場合は、その費用も含みます。)

(※²融資限度額は現行の8,000万円のまま変更ありません。)

10月1日以後の資金実行分から利用できる制度

以下の2項目については「10月1日以後の資金実行分」から利用可能です。こちらは、既にお申し込みされている方で10月1日以後に融資を受ける方も対象になります。

①【フラット 35】(買取型)の融資率※¹9割超の金利を引き下げます

現在、融資率が9割を超えている場合は、融資率が9割以下である場合の金利に年0.44%を上乗せしていますが、上乗せする金利を年0.26%に引き下げます。

(※¹融資率とは、住宅の建設費※²または購入価額に占める【フラット 35】の借入額の割合のことを示します。たとえば、「建設費が2,500万円で【フラット 35】借入額が2,000万円の場合融資率は「2,000/2,500 × 100 = 80 (%)」となります。)

(※²建設費について、土地取得費に対する借入を希望する場合は、その費用も含みます。)

例：金利引き下げのイメージ(仮定の金利)

	2019年9月以前	2019年10月以降	
9割以下の金利	年1.18%	年1.18%	変更無し
9割超の金利	年1.62%	年1.44%	(年▲0.18%)

②【フラット 50】の融資率上限などを引き上げます

- ・融資率の上限 : 6割 → 9割 に引き上げ
- ・融資限度額 : 6,000万円 → 8,000万円 に引き上げ

さいごに…

お客様は資金計画についても事業者様からの提案を求めています。このような情報をキャッチして、日々の営業活動に取り組んではいかがでしょうか?

ご不明な点については、住宅金融支援機構のお客様コールセンター(0120-0860-35)または弊社グループ会社のハウス・デポ・パートナーズ(03-3517-1100)へお問い合わせくださいますようお願いいたします。



「次世代住宅ポイント申込説明会」を開催しました

2019年6月28日に、ジャパン建材(株)新木場タワー1階の大ホールにて、「次世代住宅ポイント申込説明会」を開催しました。当日は工務店様や販売店様、不動産関係など、約100名の方にお越しいただきました。講師は、住宅保証機構(株)、(株)住宅性能評価センター、(株)ハウス・デポ・パートナーズの3社による講義となりました。消費税率引き上げに伴う住宅取得対策の目玉となる「次世代住宅ポイント」ですが、ポイント発行申請の受付も開始し、これから本格的な制度運用が見込まれます。提出書類の入手先や利用基準など、深掘りしたセミナーとなりましたので、内容をご紹介します。



①消費税率引き上げに伴う各種住宅取得支援制度について 【住宅保証機構(株)】

消費税率の引き上げに伴う住宅取得対策について、4つの支援策を説明しました。その上で、次世代住宅ポイント制度の申込の際の詳細について解説しました。注文住宅の新築、リフォームの場合の基本的な添付書類は、工事完了前か後かによって若干異なってくるので、注意が必要です。また、次世代住宅ポイントの専用ホームページも開設、詳細も掲載されていますので、下記ご確認ください。
●次世代住宅ポイント ホームページ
<https://www.jisedai-points.jp/>

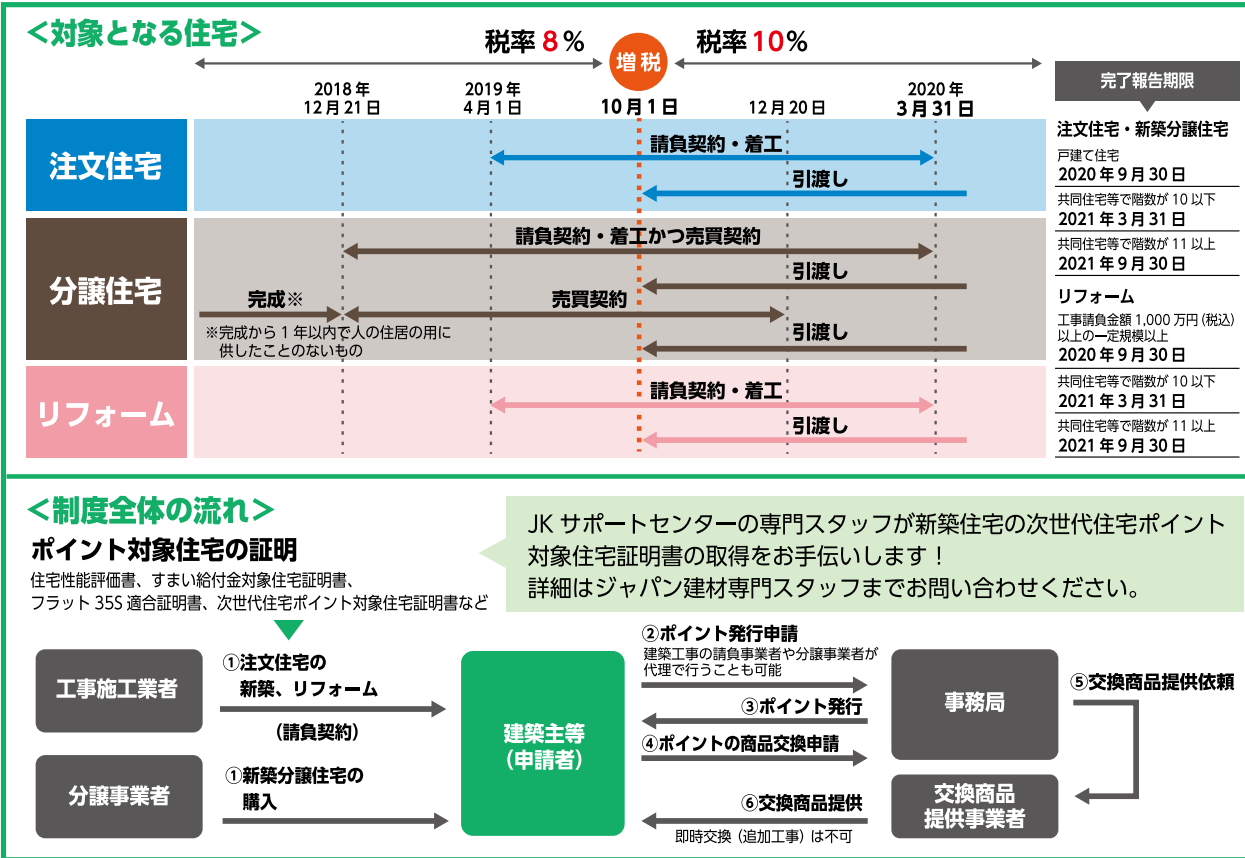
②次世代住宅ポイント利用の技術基準について 【(株)住宅性能評価センター】

次世代住宅ポイントの取得に向けて、それぞれの技術基準の詳細や、取得する際のポイントを説明しました。例えば「断熱等性能等級4」を取得すると、仕様規定、外皮計算の2ルートがあることや、開口部のスペックが大きく影響するなど、申請に関する具体的なアドバイスをを行いました。また、住宅証明書の必須項目や、各種制度取得の難易度等を解説し、次世代住宅ポイントの取得に役立つ内容をお話しました。

③明日から使える住宅ローン【フラット35】編 【(株)ハウス・デポ・パートナーズ】

次世代住宅ポイントを利用するにあたり、最新の【フラット35】の状況や、金利優遇制度の詳細を説明しました。特に関東圏の「子育て支援型・地域活性化型」は、地方公共団体と住宅金融支援機構が連携した制度で、これらを組み合わせると最大3段階の金利優遇となります。今や新築住宅の5棟に1棟が長期優良住宅認定を取得した住宅と言われており、今後ますます【フラット35】の需要は高まっていくでしょう。これから住宅購入を検討されている方にとって非常に関心が高いと思われるので、今一度、制度の内容を押さえておきましょう。

◎本説明会終了後のアンケートでは、次世代住宅ポイント制度に関して「積極的に活用したい」と答えていただいた方もいる一方で、「消費者にとってわかりにくい」、「手続きが煩雑で使いにくい」という意見も多く見受けられました。左記、制度全体のまとめを今一度ご確認ください。



株式会社 ジツダヤ

【会社概要】
本 社 名古屋市中区大須 4-14-26
創 業 1947 年（昭和 22）
合資会社 實田屋材木店
設 立 1960 年（昭和 35）
株式会社ジツダヤに改組
資 本 金 4,000 万円
年 商 57 億 7,900 万円（2018 年 8 月期）
従業員数 100 名（男性 60 名、女性 40 名）
【事業内容】
木材・新建材・住設機器・販売・施工



代表取締役社長
友松 芳信 様
ともまつ よしのぶ

【プロフィール】
1957 年（昭和 32）愛知県に生まれる
1980 年（昭和 55）早稲田大学を卒業
津田産業株式会社に入社
1984 年（昭和 59）株式会社ジツダヤに入社
1994 年（平成 06）代表取締役に就任



取締役 営業本部 営業企画部 部長
管理本部 本部長代理

友松 正護 様
ともまつ しょうご

【プロフィール】
1987 年（昭和 62）愛知県に生まれる
2009 年（平成 21）日本大学を卒業
双日建材株式会社に入社
2013 年（平成 25）パナソニック株式会社に入社
2015 年（平成 27）株式会社ジツダヤに入社
2017 年（平成 29）取締役に就任



「地場住宅産業支援企業となり、さらに施主満足企業となる」ことを目指しています。

住宅資材業界で歴史を刻む

小川 ご創業の頃からお聞かせいただけますでしょうか。

友松社長 まず社名の「ジツダヤ」ですが、これは、当家が戦前に営んでいた米穀商「實田屋」時代の、田んぼにお米が実るようにという意味の社名に由来するものです。その名を引き継ぐ實田屋は、今は私の兄が代表を務める不動産管理会社です。

当社のほうは、1947 年（昭和 22）に戦後復興を支えようと木材を扱う合資会社 實田屋材木店として創業し、父・友松芳男が代表に就任しました。その後、祖父・友松由太郎が、東海木材市場の誕生と同時に中央木材総合市売を設立し、私どもでは材木卸と小売をほぼ同時期に始めました。

そして、現在の株式会社ジツダヤとしたのは 1960 年（昭和 35）のことです。

小川 ジツダヤ様本社屋のある名古屋市中区大須の堀川の両岸には、かつては材木商が軒を連ねていたそうですね。

友松社長 はい、近隣は軒並み材木店で倉庫や製材所もありました。ですから、今でも堀川沿いには材木店や銘木店の看板が残されたまま転用されている場所もあります。

小川 経営環境が大きく変わる中でも、変化するニーズに即して継続され、今日のジツダヤ様があるということですね。新建材を始められたのは、いつ頃ですか。

友松社長 私が中学に上がるか上がらないかの頃の当社本店の写真に、永大産業さんの船のマークが写っていますので、それ以前です。永大産業さんの合板、プリント合板に始まり、1978 年（昭和 53）前後から松下電工（現・パナソニックライフソリューションズ社）さん、さらに大建工業さん、住建産業（現・ウッドワン）さんとも直接お取引させていただくようになりました。その頃から他のメーカーさんは、ジャパン建材さんのお世話になっています。

小川 ご愛顧ありがとうございます。

友松社長 私の代になって商社さんとのお取引も増え、さらに、息子が修業させていただいたのが双日建材さんで、その縁で吉野石膏さんとのお取引も始まりました。

小川 友松部長が双日建材さんで修業された期間はどのくらいですか。

友松部長 3 年間は合板、さらに 1 年間は建材で、合計 4 年間お世話になりました。その後、パナソニックさんの北陸地区で 2 年間、こちらに戻って丸 4 年になります。

小川 非常に良いご経験をされましたね。

友松部長 はい、そう思います。合板は相場商品、掛率の建材商品という異なる商売体系を学び、同時に建材業界の視野と住宅建築の視野を広げることができました。

共生共栄、一緒に仕事を創る！

小川 ところで、友松社長ご就任時の年商はどのくらいでしたか。

友松社長 37 億円ほどでした。

小川 現在は 60 億円規模ですね。お客様は、昔も今も地場工務店様ですか。

友松社長 私の代になる 20 年前には大工さんへの小売もしていたと思いますが、ここ 20 年間は地場工務店様がメインですが、従来は 3、4 年間は変化しなかった売上額によるお客様ベスト 10 メンバーの上下入れ替わりが激しく、毎年変化しています。

当社の営業拠点が、名古屋北部の春日井、小牧、美濃加茂の 3 エリアにあって営業エリアは広がっているのですが、お客様口座総数は半減、廃業・集約が急速に進んでいます。ですから現状の延長線上に将来があるとすると、これは大変なことになると思います。ですから、当社が、これから伸ばしていくべきは、納材事業を基に、ハウジング事業だろうと思います。

友松部長 当社は住宅資材販売事業とハウジング事業、リノベーション事業、工務店様サポート事業を柱としています。なかでも、自ら建築に携わるハウジング事業に取り組むことによってお客様の課題を共有化できると考えています。それを住宅資材販売事業や工務店様サポート事業にフィードバックできれば、真のパートナーとして、より質の高い提案・支援を推進していけると考えています。



小川 全国的にも、材販から建築に軸足を移しつつある方も増えていますが、資金繰りの面からは建築：材販＝3：7 が経営的には理想だというお話も伺っています。

友松社長 そのとおりです。当社は 5 年ほど前に不動産を手掛けるようになりまして、ここ 1、2 年は分譲住宅なども手掛けています。やはりお金がかかります、そこは私も実感しているところです。

当社は、経営理念に「共生共栄」を掲げ、地場工務店様の支援企業になることを目指しています。ですから 2000 年（平成 12）に施行された品確法（正式名称：住宅の品質確保の促進に関する法律）にも逸早く対応して住宅性能表示制度、住宅瑕疵保証制度への取組みを始めました。でもその頃は、それを自分たちの役割と考える同業者は極めて少数でした。

私は、商材を安く早く正確に納材することそれだけが私たちの仕事だと思い切れませんでしたし、プレカット設備に投資するという方向性もジツダヤらしくないという判断で、ジツダヤが家一軒に必要な資材をアレンジしてお見積りさせていただいて、お客様の判断を仰ぐ、価格勝負ではない対抗策、これがハウジング事業を始めた理由です。

小川 工務店様に代わって新築を受注、あ

るいは工務店様から工事を請けてサポートすることについては、いかがですか。

友松部長 年間 10 棟～30 棟クラスの工務店様は自社で新規受注されます。そこには競合他社も攻勢をかけてきます。ですから、当社は、年間数棟であっても地場密着工務店様と一緒に、お客様を開拓して仕事を創っていこうという取組みを始めています。

友松社長 価格勝負でお客様から受注できたりできなかったりというのであれば、その前段の工務店様が受注されるまでをジツダヤがサポートして、一緒に仕事を創るお手伝いができれば、ジツダヤにも適正な利益がいただけるのではないかと思います。

ですから「仕事をお客様から貰うのではなく、“工務店様と一緒に仕事を創っていこう！”と若手社員にも話しています。そのために必要な物販、建築、不動産の三つを混ぜ合わせた機能が当社にはあることを工務店様に強くアピールしていきたいと思っています。

小川 資本金も充実していらっしゃる材木店様・販売店様がエンドユーザーに向けて新築やリフォームの潜在的な需要の掘り起こしを積極的にされる、いわゆる B to C 寄りの業務を進めていくことが、方向性の一つのモデルとしてあると思います。

友松社長 当社の場合は B to B to C になるかもしれませんが、工務店様向けアプローチブックを、工務店様がエンドユーザー様に説明できるような内容で作成したいとも思っています。

さらに工務店様の営業代行ができるようになれば、素晴らしいだろうと思います。

小川 あとは E コマースでしょうか。今の若い世代は、住宅を建てたいと思ったら、まずネットから情報を探します。そこにジツダヤ様が運用される情報源があれば、アクセスしてもらえて工務店様フォローにつながるような仕組みの構築が必要ですね。

私たちジャパン建材が今日も生きていられるのは、ジツダヤ様のような地場密着の木材店様・販売店様と地場工務店様の頑張りのおかげです。私たち間屋も、材販だけでは選んでいただけないと思いますので、エンドユーザーの方々に見えるブランドを武器に、フロントには地場工務店様に出してもらい、その後ろ盾を木材店様・販売店様と共に当社が担っていこうという構想で進めています。

その一つが『快適住実の家』で、現在、全国に 3,000 社余りの工務店様に会員登録いただいています。その方々に向けて国の支援策や、長期優良住宅など支援事業を活用するための申請手続きなどの周辺サポートもしていますが、今後さらに工務店様の営業支援もしていきたいと思っています。

友松部長 その『快適住実の家』メニューは、当社の工務店様サポート事業の安定継続のためにも活用させていただいています。

友松社長 現場への迅速な配送だけでなく、工務店様支援に繋がるサポートもしていただけなのは、とてもありがたいことです。

小川 当社のサポートセンターが東北でス

タートしたのが 2006 年（平成 18）、ちょうど私がジャパン建材に入社した年でした。そこから 4、5 年で全国の拠点を確立し、その後のさまざまな知見の蓄積によってようやくここまで形になりましたので、ぜひフルにご活用いただければと思います。

あらゆるシーンからサポート

小川 ジツダヤ様の将来像について、お聞かせいただけますか。

友松部長 工務店様が困っていらっしゃることは、集客、施工の人手不足などです。

一方、お施主様は、どんな家に住みたい、どこに住みたい、という志向・要望が明確になってきています。

当社は、そうしたお施主様が住みたい場所に土地を探すことや、土地を買い換えて家を建てたい住み替え相談についてもフォローできます。加えて今やりかけているのは、工務店様がお施主様より情報を得るのが後手になりがちなので、そこをカバーするような、お施主様の潜在的なニーズにこちらから働きかけて PR していく仕掛けづくりです。

さらに、独自にモデルハウスを持ってない工務店様に代わって当社が土地を確保して、一緒にモデルハウスを建てるモデルハウス事業にも取り組みはじめたところです。

小川 住宅が建つエリアや周辺環境がエンドユーザーの価値観に一致していなければ、消費者の心はつかめませんからね。

友松部長 町づくりのコンセプトまではできていませんが、一昨年と昨年、当社が 5 区画分の宅地を用意して、工務店様に向けてモデルハウスを建ててみませんかという提案への参加を募り、工務店様 5 社にモデルハウスを建ててもらいました。

小川 それがモデルハウス事業ですか。

友松社長 その最初の試みです。

友松部長 この事業によってナチュラルテイストの家や防災機能を高めた家など、それぞれに特色のある家づくりに取り組んでいらっしゃる工務店様による住宅が集まることで独特の空気感や景観の町が形成できることを想定した住宅建築に取り組んでいきたいと思っています。

小川 公営住宅のリノベーションで家庭菜園のある住宅街や、駅前のシャッター通りを再開発で活気づけるなど、町に新たな価値や息吹を与える試みが各地で進められています。私たちも、そうした取組みについて、もっか研究を進めているところです。

友松部長 今後は、同業の皆様と得意分野を活かしながら協業していく可能性もあるのではないかと考えています、そのための人脈づくりも進めたいと考えています。

友松社長 直近の課題となっている、例えば配送料なども同業者が連携して持続可能な業界を目指していくことが、今後ますます必要になるでしょうね。

小川 私たちも皆様の困りごとの解決にお役立ちができるよう努力して参ります。将来に向けた興味深い取組みについてお聞かせいただき、ありがとうございました。

一押し！
リフォーム情報！

東京汐留に『TOKYO リノベーションミュージアム』がオープン

2019年4月 パナソニック東京汐留ビル1階に「TOKYO リノベーションミュージアム」がオープンしました。最近トレンドになりつつある、中古住宅やマンションを購入し、自分好みにカスタマイズ、リノベーションする事が人気となっており、このリノベーションミュージアムでは、それぞれの生活シーンや趣味、ライフスタイルに合わせた展示がされています。中に入ると、リノベーションに関する様々な知識を「学ぶエリア」、リノベーションで新しく得られる暮らしに「憧れる」エリア、リノベーションをしたいという思いを「実

現」するエリア、の3つの要素で構成されて、それぞれが新しい暮らしを「実感」できる内容になっています。「実現」するエリアでは、リノベーションをサポートする「コンサルティング&サービス」を設けて、一点ものリノベーションマンション専門サイト「cowcamo（カウカモ）」を運営するツクルバ、住まい相談室「プロイエ」を展開するパナソニックプロイエサービス、リノベーション費用の相談ができる三井住友信託銀行に加え、建築家、インテリアコーディネーターといった他業種とも連携しています。



愛情をもって家造りをしてほしいという思いがこもったコンセプト。



#LOVEWALL ロサンゼルス在住アーティストの作品アートギャラリーのようなショールーム。



約75㎡のリノベーションマンションの実寸大の空間を2パターン展示。
1.一部リノベーションした「家族がほどよくつながる家」
2.全面的に改装した「趣味を楽しむ、ギャラリーの家」

オススメリフォーム1 洗面所に室内干しエリアを

『TOKYO リノベーションミュージアム』内では、この季節に悩みがちな部屋干し問題を解決する新しい提案が！洗濯物を浴室内で乾燥すると、入浴時に邪魔になってしまうが、洗面所に室内干しエリアを設けると、入浴の度に洗濯物を移動する手間が省けます。また、最近は浴室内で干す事でカビの付着を気にされる施主様もいらっやいます。働き方も変わりつつあり、共働きや子育てで毎日忙しく過ごすご家庭に家事を効率化出来る機能的な洗面所をご提案されてみては？

オススメリフォーム2 有孔ボードのオシャレな活用

2019年6月、パナソニックから、天井を木目にしたり、壁のアクセントや機能性アップに有孔ボードを使ったり、アイデア次第でもっとおしゃれで使いやすい空間が作れるカスタムパーツが発売されました。有孔ボードなどはDIYでも大人気なアイテムの一つです。カスタムパーツは各パーツで塗装対応柄（ワイルドオーク柄）を選べるため、好きな色を塗って、自由なお部屋づくりを楽しんでみてはいかがでしょうか？



ショールーム内洗面所コーナー



ホシ姫サマ・部屋干しファン・750ランドリーラックを展示

羽目板



壁に横方向に壁板を貼って、玄関がおしゃれなガレージスペースに。

有孔ボード



デスク周りにぴったり。緑をキレイに仕上げる納まり部材を同柄でご用意。市販のフックと組み合わせで見せる収納に！

マグネット対応化粧ボード



子供部屋や書斎、店舗の内装にも嬉しいパーツ。(写真の柄はブルーグレーオーク柄)

塗装対応柄



市販の塗料で塗装できるワイルドオーク柄をご用意お好みの色にアレンジできます。

JKHD グループ紹介

株式会社キーテック（山梨工場）

て山梨県と長野県から調達しています。生産される製品は、建築に使われる 12 ミリ厚、24 ミリ厚、28 ミリ厚の規格の構造用合板

株式会社キーテックは、1958 年南洋材の天然木を原料とした合板の生産から始まり、2018 年に 60 周年を迎えました。その後、千葉県木更津市で現在の主力商品の一つである構造用単板積層材（LVL、商品名：キーラム）の生産を日本でいち早く開始し、現在では LVL を組み合わせた複合材料の開発や大断面の加工機械の導入など、常に新しいことに挑戦してまいりました。さらに 2019 年 5 月には山梨県身延町に国産材を原料とする合板工場を建設し、製造を開始しました。

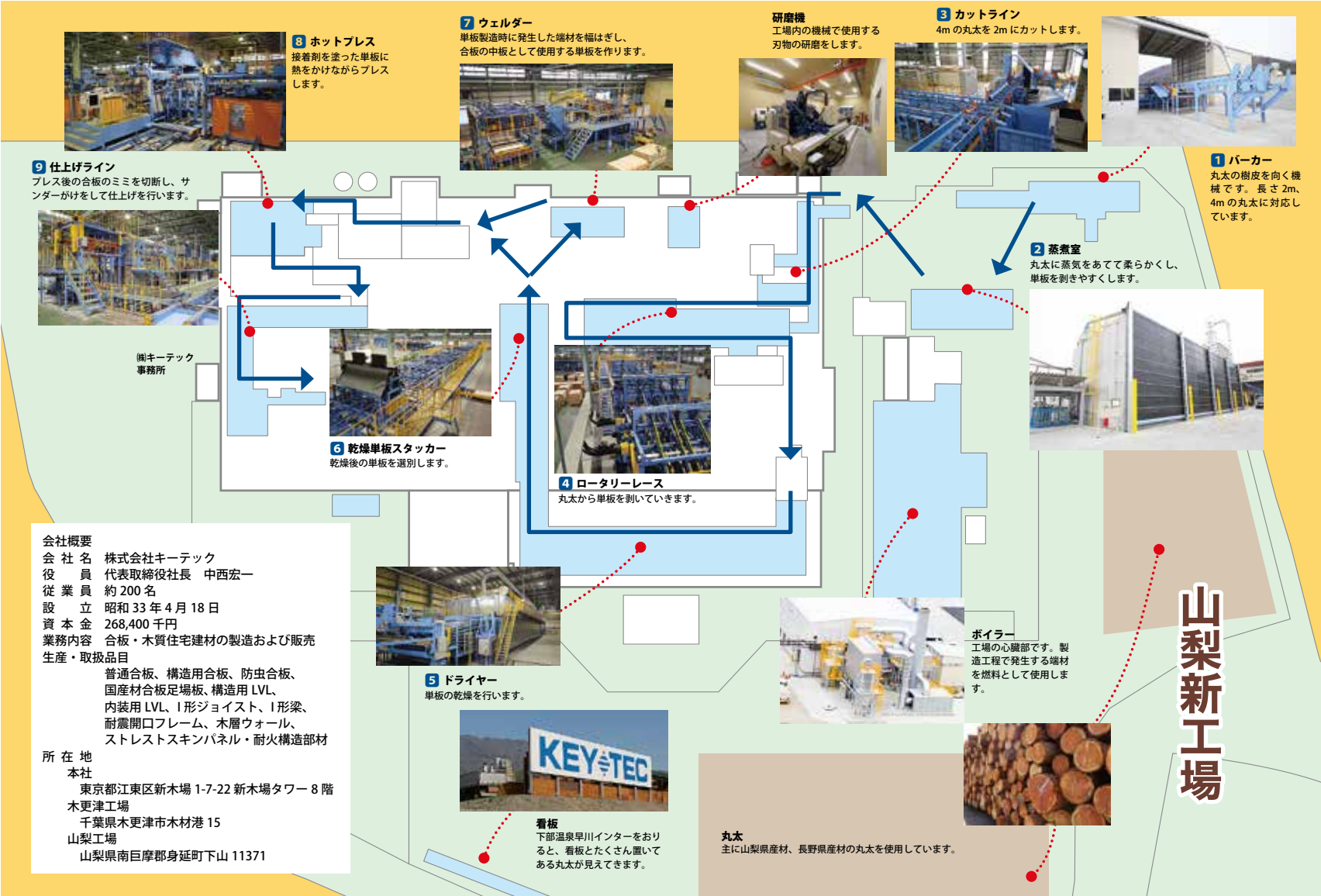
山梨工場は、最新のロータリーレースや大型のバイオマスボイラーを備えるほか、生産性を重視した生産ラインとすることで、年間 12 万立方メートルの原木から 6 万 8 千立方メートルの合板を効率的に生産する関東エリアでは唯一の合板工場であります。敷地面積は 7 万 4090 平方メートルを要する山梨県内屈指の大型工場で、使用する樹種は、「カラマツ」「スギ」「アカマツ」で主とし

で、主に住宅の壁、床に使用されます。

山梨工場は JAS 規格および FSC や SGEC といった森林管理認証も取得しています。

キーテックは、近年の木材・合板を取り巻く環境に対応し、原料を持続可能な循環資源である植林木に徐々に移行しています。また山梨県で生産する合板については 100%、千葉県で生産する LVL についても約半分の原料を国産材にするなど、国産材利用に積極的に取り組んでおります。さらに地産地消にも努め、地域の様々な建築物に地元の原料で作った LVL や合板を利用し、皆様の信頼・満足をいただいております。

キーテックは、これからも、地球に優しく、地球に貢献できる、未来に広がるものづくりを続けていくことをお約束いたします。



新築工事中の防火管理対策に 粉末ABC消火器・中性強化液消火器

モリタ宮田工業株式会社

建築現場での工事中の建物火災が東京消防庁管内で年間 100 ～ 200 件発生しています。これから空気が乾燥してくる季節、防火の見直しをしてみませんか？

【万能タイプの 10 型粉末消火器 UVM10AL】

万能 普通火災／油火災／電気火災に対応！

耐食 アルミ製だから水に強い！

軽い 業界最軽量 3.9Kg！
持ち運びがラク



【安全な中性強化液消火器ハイパーミスト】

万能 普通／油／電気火災に対応、深部火災に有効！

安心 液体タイプで放射後の掃除も簡単！

安全 底部樹脂加工で耐蝕防止、
床の傷つきも防止！



消火器の使用期限の確認もお忘れなく！

使用期限は製造年から 10 年です。

製造年が 2008 年の場合、使用できるのは 2018 年までです。

製造から 10 年を超えている消火器は安全のため交換してください。



高性能ノンフロン断熱材 カネライトフォーム® FX

(製造) 株式会社カネカ (販売) カネカケンテック株式会社

ZEH、HEAT20 など、ますます高まる断熱要求に対応する“高性能断熱材”
カネライトフォーム®の3大特性は、

- 高性能だから壁の厚みを抑えられます
- 外張り、充填どちらの断熱工法にも使えます
- 吸水・吸湿性がほとんどありません



独立した小さな気泡の中に気体を閉じ込める
ことにより、熱伝導の三要素として
知られる「伝導・輻射・対流」を抑制し、
熱を効果的に遮断します。



Kaneka

押出発泡ポリスチレンフォーム断熱材 XPS3bD (3 種 bD)

【一般物性】(試験法 JIS A 9521)

密度 25 kg/m³以上
熱伝導率 0.022 W/(m・K) 以下
圧縮強さ 20 N/cm²以上
曲げ強さ 25 N/cm²以上
吸水量 0.01 g/100cm²以下
透湿係数 145 ng/(m²・s・Pa) 以下 (厚さ 25mm)
燃焼性 合格
ホルムアルデヒド放散区分 F☆☆☆☆等級
※燃焼性の規格は「3 秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ
燃焼限界指示線を超えて燃焼しない」ことです。

【規格】

幅 910mm
長さ 1,820mm
厚さ 35・40・45・50mm

※「カネライトフォーム」は、株式会社カネカの登録商標です。



ハウス・デポ・ジャパンは
“まかせられる多能工”を育成し、
職人不足を解消します

ハウスデポ・リフォーム技能者育成スクール ハリス (HRIS)

Housedepot Reformginousha Ikusei School

新設住宅着工数は人口減少に伴い年々減少しつつある反面、
リフォーム事業は需要の拡大が見込まれています。しかしながら、職人の高齢化と人材不足が問題視されています。

ハウス・デポ・ジャパンは中小工務店様への支援を目的とした
『多能工の育成』ハウス・デポ加盟店の社員育成を実現するため
ハウスデポ・リフォーム技能者育成スクールを開校いたしました。



株式会社 ハウス・デポ・ジャパン

〒136-0082 東京都江東区新木場1-7-22 新木場タワー5F
TEL : 03-5534-3811 FAX : 03-5534-3819 URL : <http://www.housedepot.co.jp>



おかげさまで、6拠点となりました。
引き続きよろしく願い致します。

本社	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-1-8 KDX新日本橋ビル9階
札幌営業所	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西20-1-27 井門札幌N120ビル3階C号
仙台営業所	〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3-2-1 ルーセント21ビル 3階
名古屋営業所	〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜2-5-11 シェーネルビル402号室
大阪営業所	〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満2-6-8 堂島ビルチング705号室
福岡営業所	〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-5-11 アバンダント89 501号室

★ハウス・デポ・パートナーズ電子契約 始めました！

★つなぎ融資用短期団信W保証プラン 始めました！

お問合せ・お申込みは・・・



【三井物産・JKホールディングスグループ企業】

株式会社ハウス・デポ・パートナーズ

フリーダイヤル: 0120-887-800

Mail: hdp@housedepot-p.co.jp

担当: 営業部 内田 伊東 荒谷 北野
伊坂 村田 網田

貸金業登録番号 関東財務局長(2)第01508号
日本貸金業協会会員 第005893号

リフォーム向け 次世代住宅ポイント特集

今回は、2019年6月3日から開始された次世代住宅ポイント制度にちなんで、同制度のリフォームで対象となっているブルズ商品をご紹介します。予算に限りがありますので、お施主さまへ早めの案内を行い、ビジネスチャンスに繋げていきましょう。

高断熱浴槽 24,000 /戸

YUPINESS ハイグレード PLAN



なめらかで美しい光沢を放つ鏡面壁と入り心地にこだわった浴槽が、バスタイムのリラックス感を高めます。

■おそうじ浴槽

別途オプションで付けれる「おそうじ浴槽」は、スイッチひとつで浴槽を洗浄する便利な機能。家事の負担を軽減します。



ふろ洗浄ボタンを
押すだけ！



掃除しやすいレンジフード 9,000 /戸

レンジフード スマートスクエアフード



フードの厚み 35mm の薄型スタイリッシュデザイン。シロッコファンが簡単に取り外せるので、お掃除の負担も少なくて済みます。



フラット形状で
拭き取りも
ラクラク！

宅配ボックス 10,000 /戸

戸建住宅向け 宅配ボックス



※サービスの利用方法は各配達業者にお問い合わせください。

不在時でも荷物の受取・発送ができる宅配ボックス。大中小の3サイズからお選びいただけます。住宅の外観に溶け込むシンプルなデザインです。



蓋の裏側には
印鑑ボックス
付いています！

次世代住宅ポイントとは

2019年10月に予定されている消費税率10%への引き上げ後の住宅購入やリフォームを支援するため、新築は最大35万円相当、リフォームでは最大30～60万円相当の様々な商品と交換できるポイントを付与する補助金制度です。新築・リフォームそれぞれの予算は新築1,032億円・リフォーム268億円で、ポイント発行は6月3日から、ポイントの交換期間は10月1日～20年6月30日までと予定されています。発行は予算がなくなり次第終了となりますので、注意が必要です。



専用のチラシもご用意しています。必要な方は、弊社営業担当にお問い合わせください。

お問合せは、ジャパン建材各営業所までお願いします。

展示会
出展情報

ジャパン建材が みらい市に出展します！

2019年8月23日（金）・24日（土）に開催される、橋本総業株式会社様主催の「みらい市 2019」に出展することが決まりました。

みらい市では「環境・エネルギー」「中古住宅流通・リフォーム」「健康・快適」「安全・安心」「地域活性化」「グローバル化」「IT技術の活用」の7つのキーワードから、環境・エネルギー商品やリフォーム商材などをご提案しています。

ジャパン建材としては、2017年から開始している合板・木材製品のエコブランド「J-GREEN」、ありとあらゆる建築資材を集めたプライベートブランド「Bulls」、そしてYKK AP グループのコーヒー部門「カフェ・ボンフィーノ」の3ブランドで、みらい市特別コラボ展示をします。当日は当社説明員がおりますので、お越しの際はお気軽にお声掛けください。

住設・建材商品が並ぶ中、木にふれあいながらコーヒーを飲む。そんなくつろぎの場をご用意してみなさまでご来場をお待ちしております。

※来場方法：みらい市当日に本誌（ブルズビジネス 8月号）を会場受付までご持参ください。受付にてご対応させていただきます。



ジャパン建材のプライベートブランド 「J-GREEN」

2017年、ジャパン建材は合板・木材製品のエコブランド「J-GREEN」事業を開始いたしました。合法性等が証明された製品、環境に優しい製品を「J-GREEN」として独自に選定し、国内外での普及に向けて取り組んでまいります。

Information

- 展示会名：みらい市
- 主 催：橋本総業株式会社 みらい市実行委員会
- 開催日時：8月23日（金）9：30-17：00／8月24日（土）9：30-16：00
- 会 場：東京ビッグサイト青海展示棟 A・B ホール
- 会社ホームページ：https://www.hat.co.jp/

合板 天気図



晴れ時々曇り

ジャパン建材 合板部
部長 猪爪 清和

新設住宅着工戸数

2019年5月は72,581戸（前年同月比8.7%減）で2カ月連続の減少となった。その内、木造住宅は42,218戸（前年同月比3.8%減）で2カ月連続の減少となった。季節調整済年率換算値は90.0万戸で前月比3.3%減、2カ月連続の減少となる。

利用関係別では持家が24,826戸（前年同月比6.5%増）で8カ月連続の増加、貸家は26,164戸（同比15.8%減）で9カ月の連続の減少、分譲は21,217戸（同比11.4%減）で2カ月連続の減少となった。分譲の内訳はマンションが9,165戸（同比22.7%減）で2カ月連続の減少、戸建ては11,899戸（同比0.4%減）と6カ月ぶりの減少となった。持家は増加したが、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比8.7%の減少となった。

国内合板の供給量

5月の国内合板生産量は26.6万㎡（前月比98.7%、前年同月比101.1%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は25.5万㎡（同比99.2%、101.4%）となり、出荷量は26.3万㎡（同比102.4%、109.7%）で在荷量は13.3万㎡と減少した。出荷量は8カ月連続で前年を上回った数字となった。

輸入合板の供給量

5月度入荷量は18.7万㎡（前月比78.7%、前年同月比67.7%）となった。国別入荷量はマレーシアが6.4万㎡、インドネシアが5.8万㎡、中国が5.2万㎡となっている。10年ぶりに20万㎡を割る入荷となった。

今後の見通し

国内針葉樹合板は高水準の出荷が続いている。品薄感は地域差があるが、全国的に納期がかりは始めている。着工数の推移によっては品薄状況が続くことも考えられるので、先行きの仕事状況の把握と早目の手配をお勧めしたい。

輸入合板に関しては、5月は入荷量18.7万㎡（前年同月比67.7%）と近年に無いほど少なく、大方の予想以上に減少した。先行き入荷量も絞られる状況下、港頭在庫の調整もつき、歯抜けアイテムから上値を伺う展開となっている。停滞していた相場がようやく上昇傾向に向かう環境となってきた。現状、輸入業者は採算割れの商いを続けているが、それがどこまでも続くことは無く、注意が必要な時期にあると思われる。国内合板は晴れで間違いなが、輸入合板は曇りがちなので、全体としては晴れ時々曇りといったところだろうか。